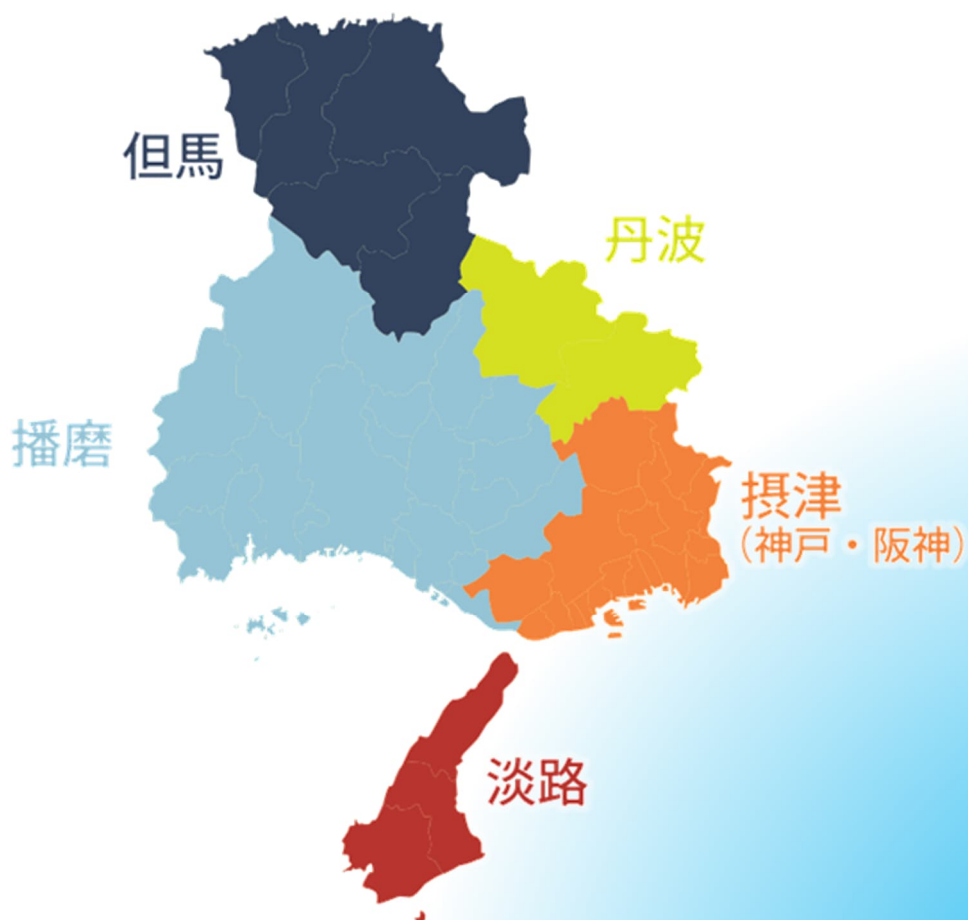




Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

令和7年度 兵庫県内市町 市町財政の状況



1. 経常収支比率の状況

【資料 1】 令和 7 年度兵庫県内各市町の経常収支比率（単年度）の状況<地図> 1

【資料 2】 経常収支比率（単年度）の対前年度比較 2

2. 実質公債費比率の状況

【資料 3】 令和 7 年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況<地図> 3

【資料 4】 実質公債費比率の対前年度比較 4

3. 将来負担比率の状況

【資料 5】 令和 7 年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況<地図> 5

【資料 6】 将来負担比率の対前年度比較 6

4. 財政調整基金残高の状況

【資料 7】 令和 7 年度末兵庫県内各市町の財政調整基金残高の状況<地図> 7

【資料 8】 財政調整基金残高の対前年度比較 8

5. 税徴収率の状況

【資料 9】 令和 7 年度兵庫県内各市町の徴収率（個人住民税）の状況<地図> 9

【資料 10】 徴収率（個人住民税）の対前年度比較 10

【資料 11】 令和 7 年度兵庫県内各市町の徴収率（固定資産税）の状況<地図> 11

【資料 12】 徴収率（固定資産税）の対前年度比較 12

【資料 13】 令和 7 年度兵庫県内各市町の特別徴収実施率の状況<地図> 13

【資料 14】 特別徴収実施率の対前年度比較 14

※ 参考

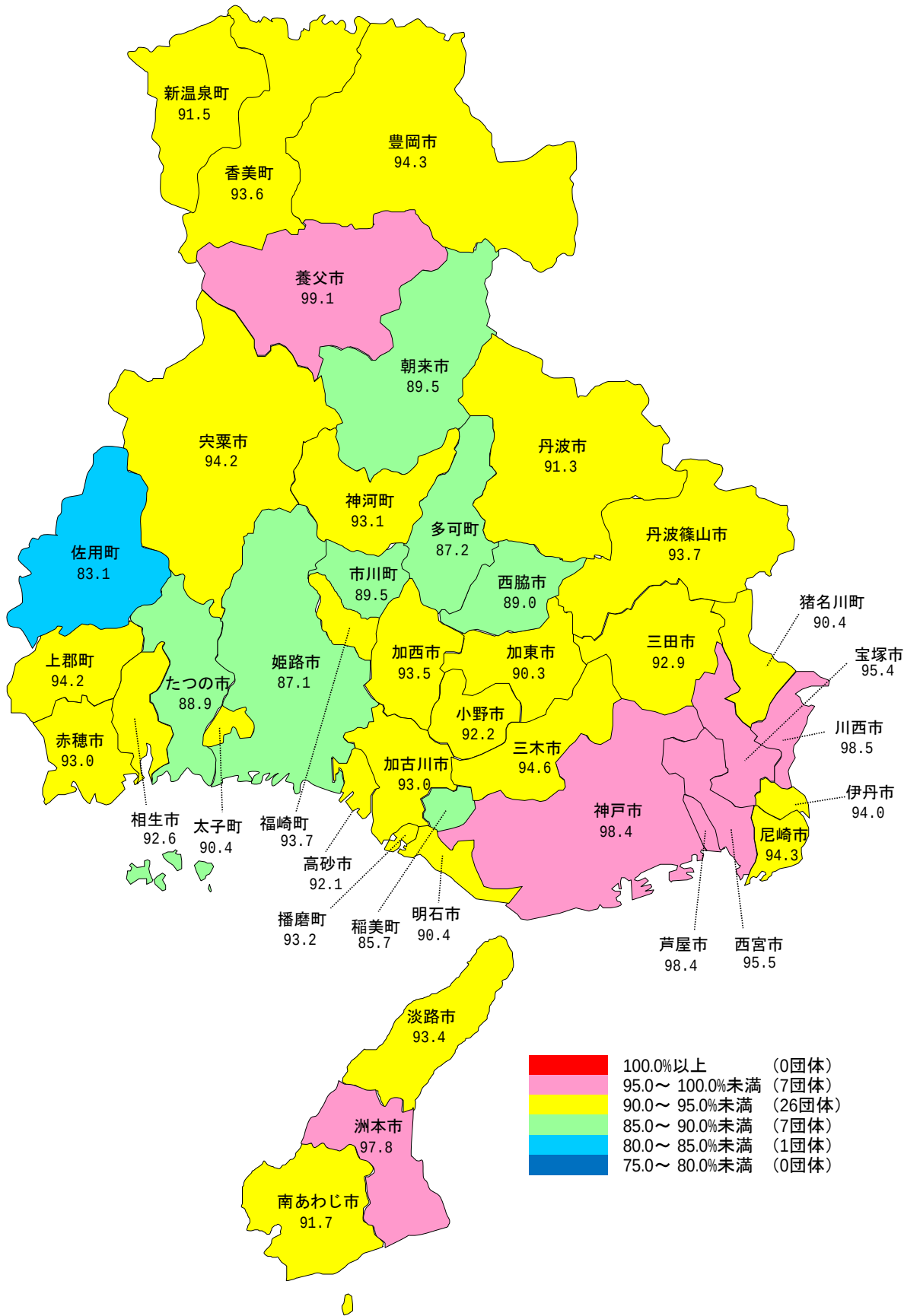
【参考資料①】 令和 7 年度兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況<地図> 15

【参考資料②】 ラスパイレス指数の対前年度比較 16

※今回発表は 9 月末時点の数値であり、今後、議会審査等により変更の可能性あり

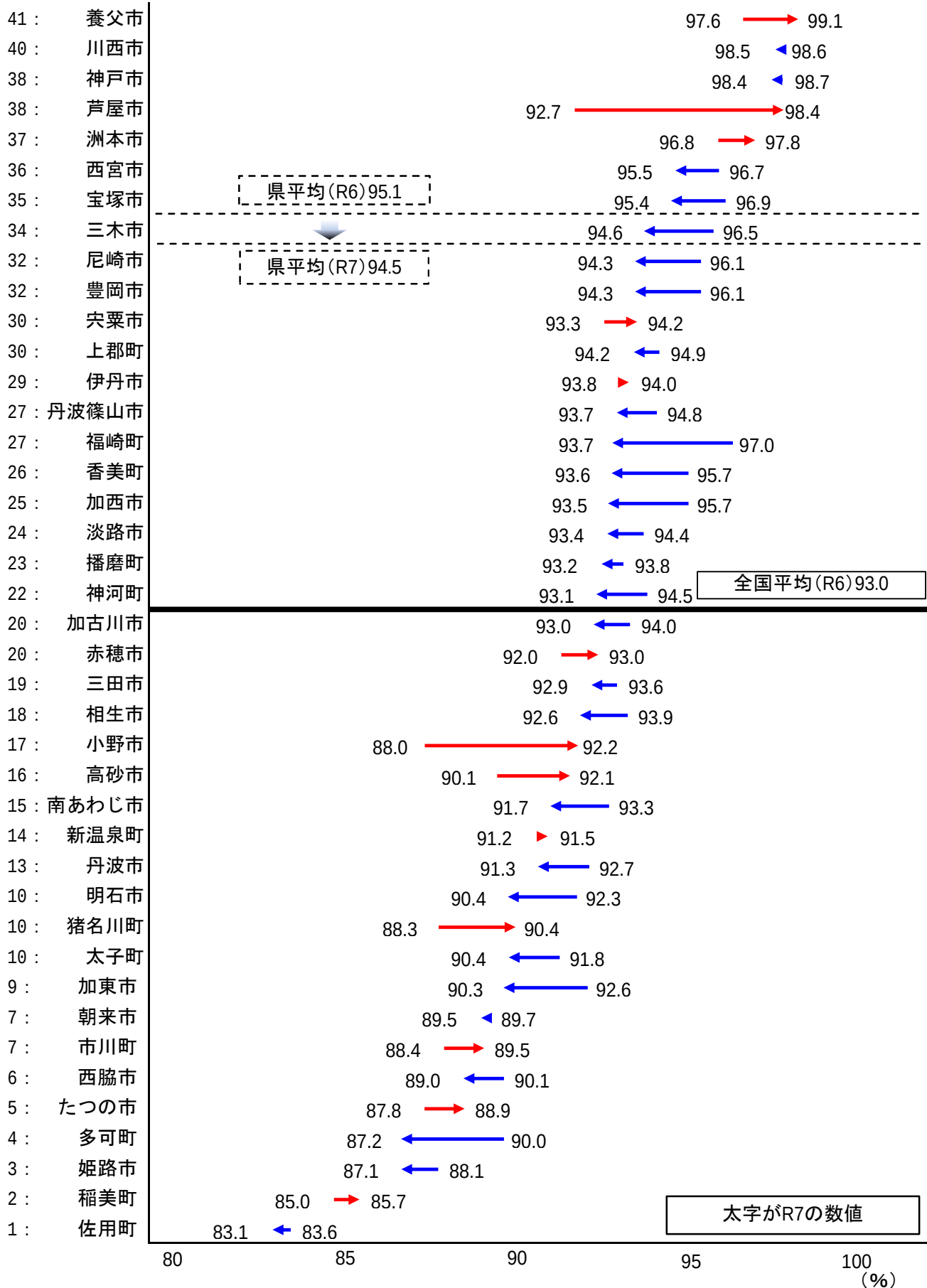
令和7年度 兵庫県内各市町の経常収支比率の状況

○経常収支比率の県内市町平均は、94.5%(R6県平均95.1%)
○経常収支比率が最も高い団体は、市では養父市(99.1%)、町では上郡町(94.2%)
○経常収支比率が最も低い団体は、市では姫路市(87.1%)、町では佐用町(83.1%)



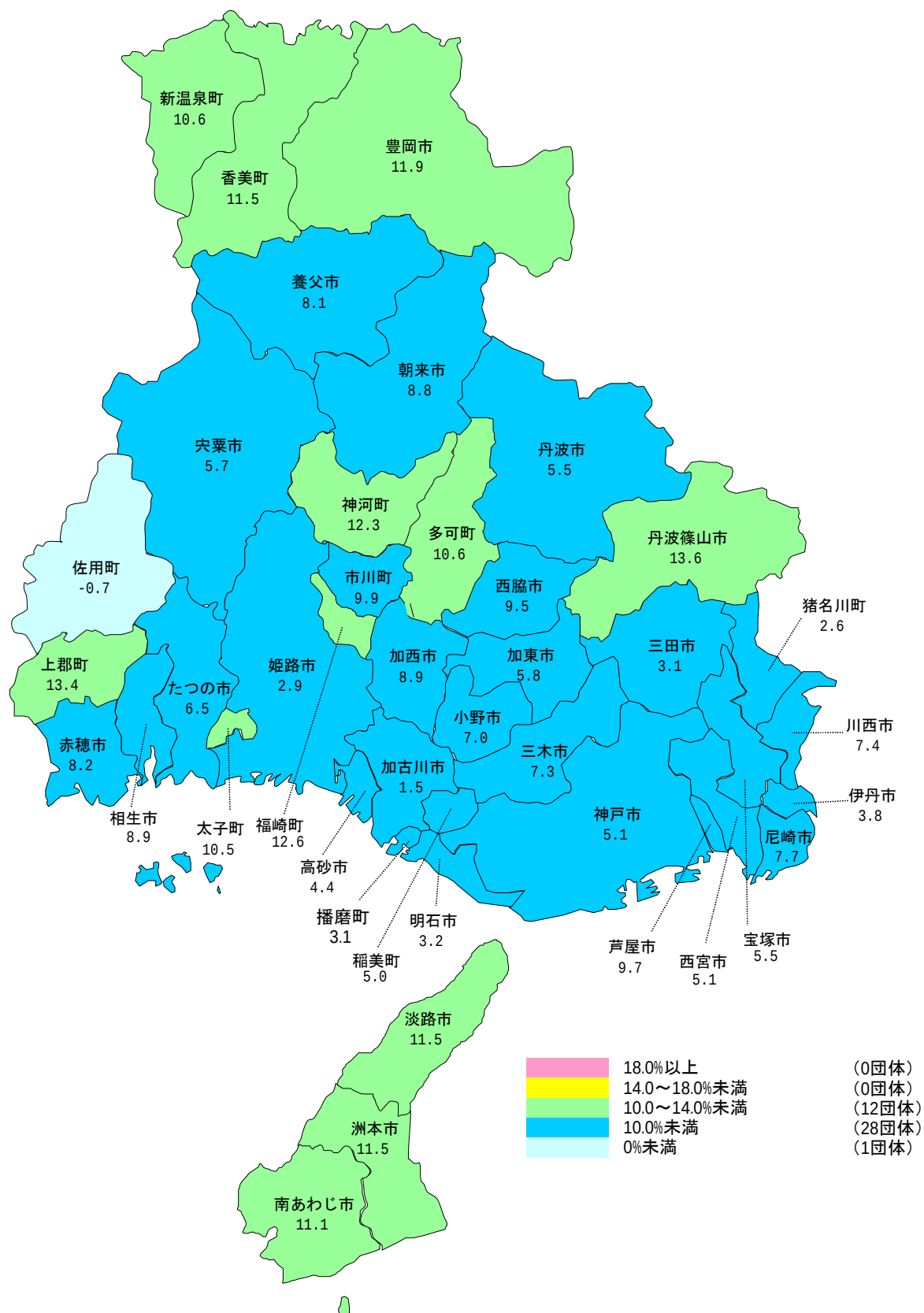
経常収支比率の対前年度比較

- 前年度から比率が増加したのは13団体、比率が減少したのは28団体
 ■最も減少したのは、市では加東市(▲2.3)、町では福崎町(▲3.3)
 ■最も増加したのは、市では芦屋市(+5.7)、町では猪名川町(+2.1)



令和7年度 兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況

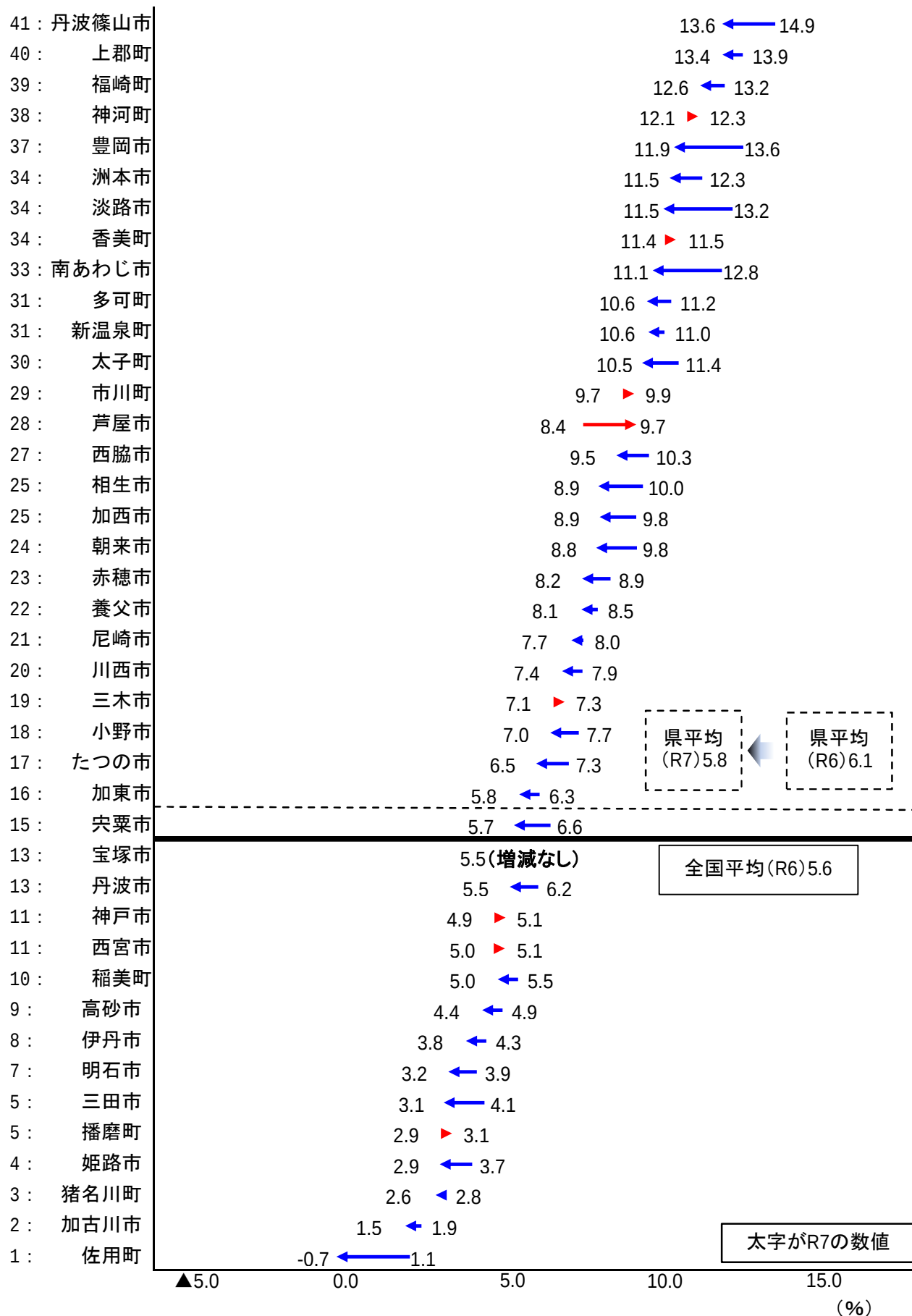
- 実質公債費比率の県内市町平均は、5.8%(R6県平均 6.1%)
- 実質公債費比率が25%以上及び18%以上の団体は、なし
- 実質公債費比率が最も高い団体は、市では丹波篠山市(13.6%)、町では上郡町(13.4%)
- 実質公債費比率が最も低い団体は、市では加古川市(1.5%)、町では佐用町(-0.7%)



※ 実質公債費比率25%以上35%未満の地方公共団体 : 早期健全化団体となり、財政健全化計画を策定し、その内容及び実施状況に応じて起債を許可
 ※ 実質公債費比率が18%以上25%未満の地方公共団体 : 公債費負担適正化計画の内容および実施状況に応じ、起債を許可

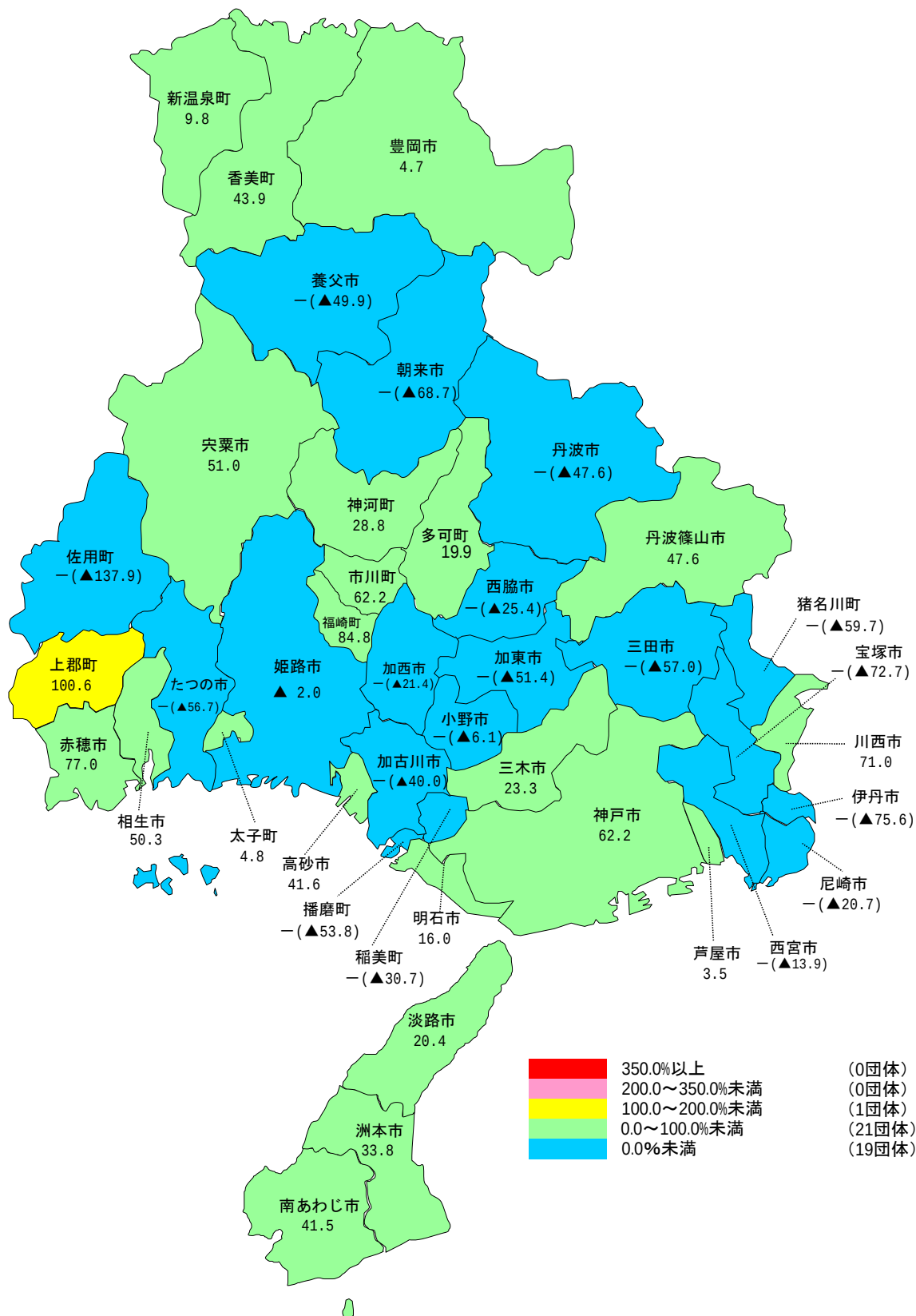
実質公債費比率の対前年度比較

■前年度から比率が増加したのは8団体、比率が減少したのは32団体、増減なしは1団体
 ■最も増加したのは、市では芦屋市(+1.3)、町では神河町、市川町、播磨町(+0.2)
 ■最も減少したのは、市では豊岡市、淡路市、南あわじ市(▲1.7)、町では佐用町(▲1.8)



令和7年度 兵庫県内各市町の将来負担比率の状況

- 将来負担比率の県内市町平均は、12.6%（R6県平均16.6%）
 ○将来負担比率が350%以上（早期健全化団体）の団体は、ない。
 ○将来負担比率が最も高い団体は、市では赤穂市（77%）、町では上郡町（100.6%）
 ○将来負担比率が最も低い団体は、市では伊丹市（▲75.6%）、町では佐用町（▲137.9%）

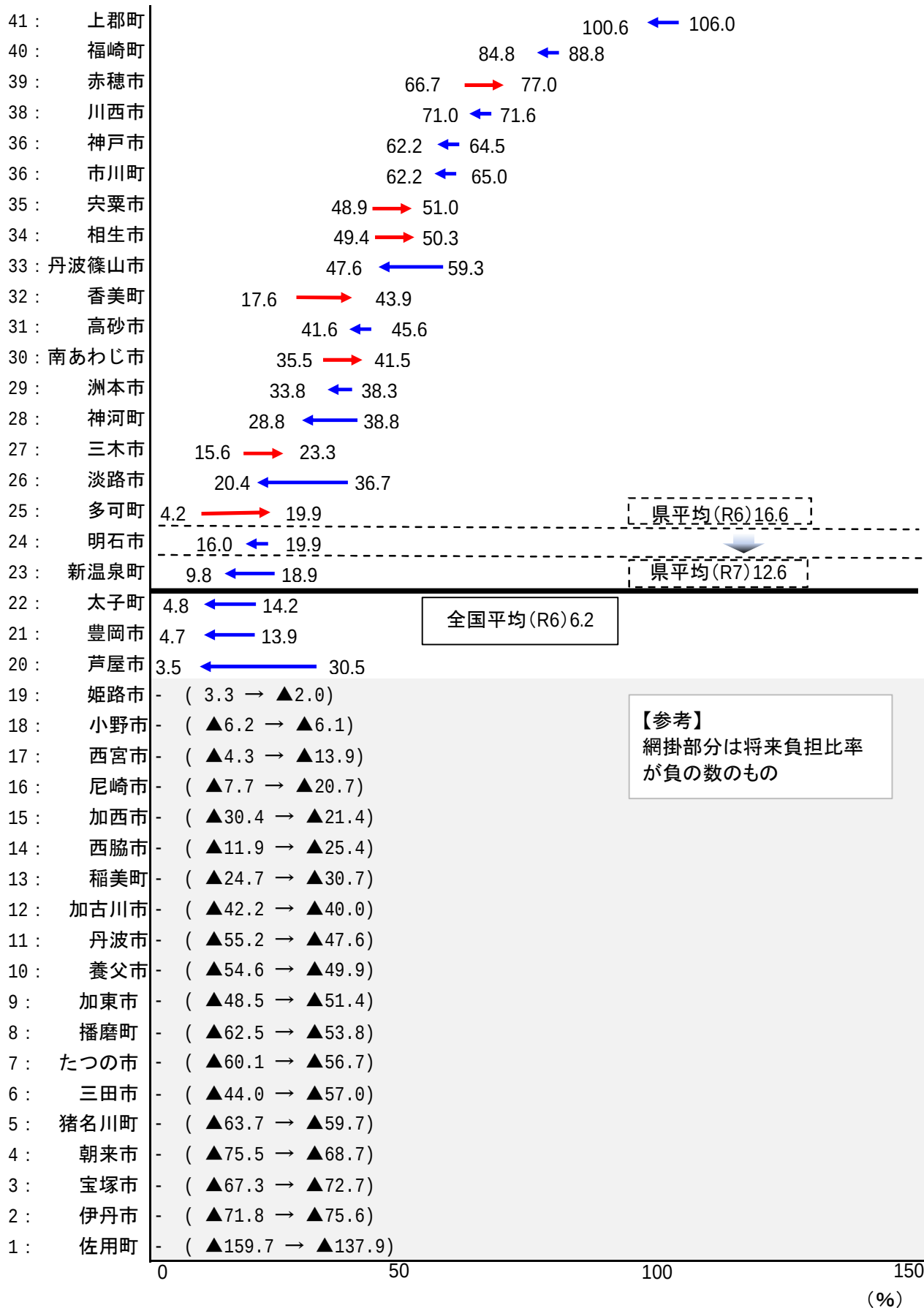


※ 将来負担比率が350%以上（政令市においては400%以上）の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を定めなければならない

※ 将来負担比率について、公債費充当可能財源等が将来負担額を上回るため比率が算定されない団体は、「—」で表示（括弧書きで、公債費充当可能財源等の超過率を参考表示）

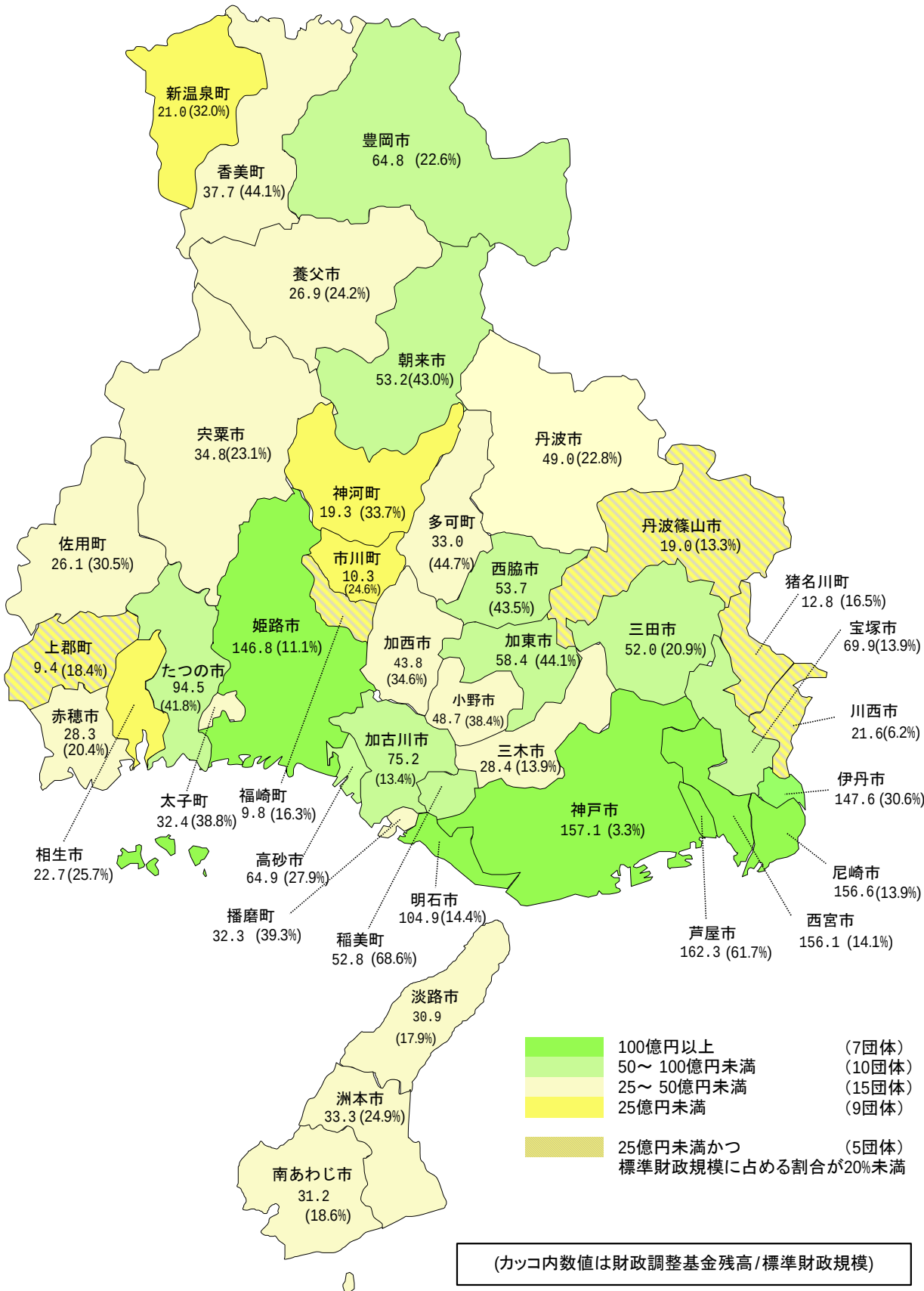
将来負担比率の対前年度比較

■前年度から比率が増加したのは17団体、比率が減少したのは24団体、増減なしは0団体
 ■最も増加したのは、市では赤穂市(+10.3)、町では香美町(+26.3)
 ■最も減少したのは、市では芦屋市(▲27)、町では神河町(▲10)



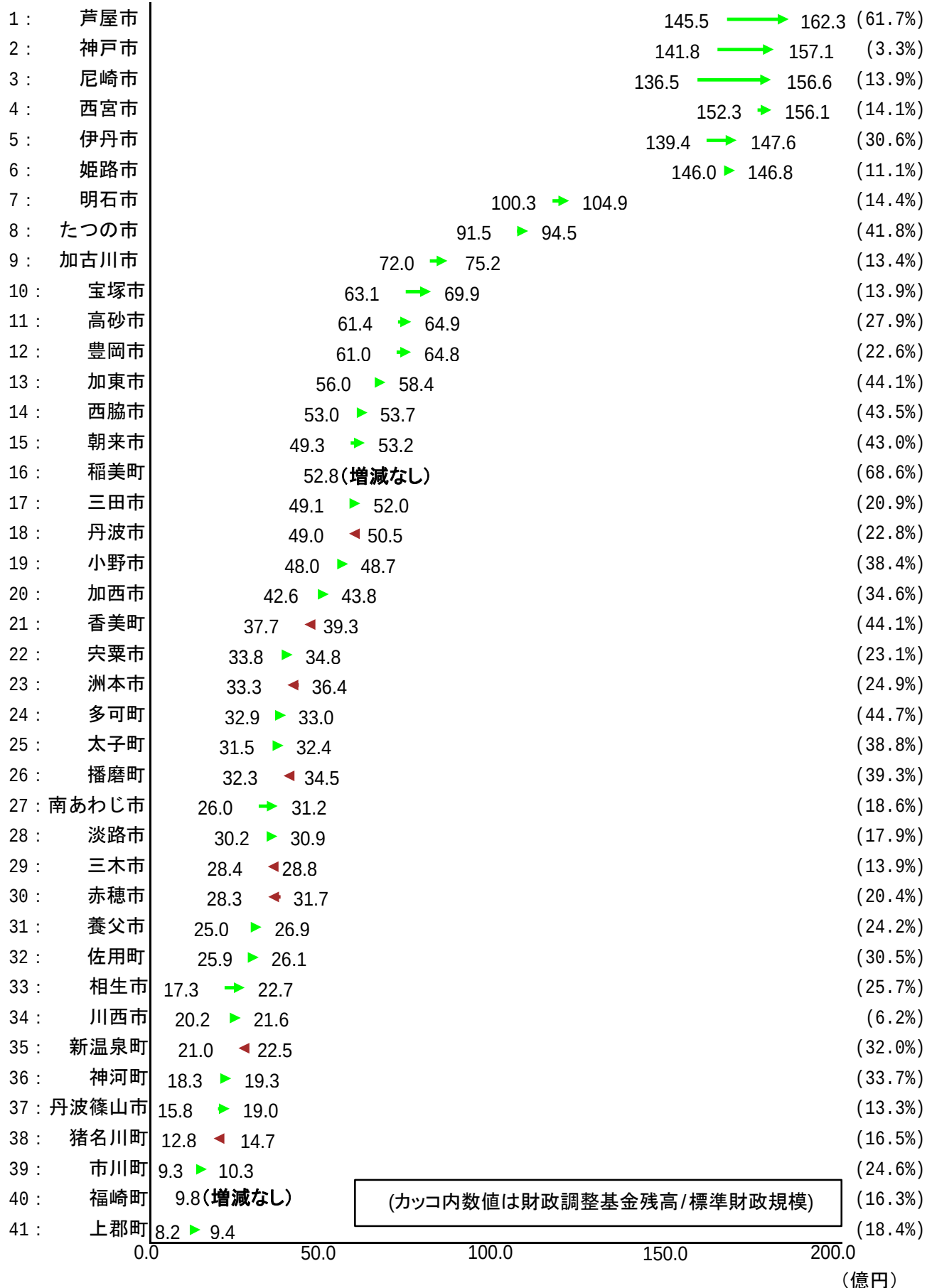
令和7年度末 兵庫県内各市町の財政調整基金残高の状況

- 財政調整基金残高の県内市町合計は、2333.4億円
- 財政調整基金残高が最も多い団体は、市では芦屋市(162.3億円)、町では稲美町(52.8億円)
- 財政調整基金残高が最も少ない団体は、市では丹波篠山市(19.0億円)、町では上郡町(9.4億円)



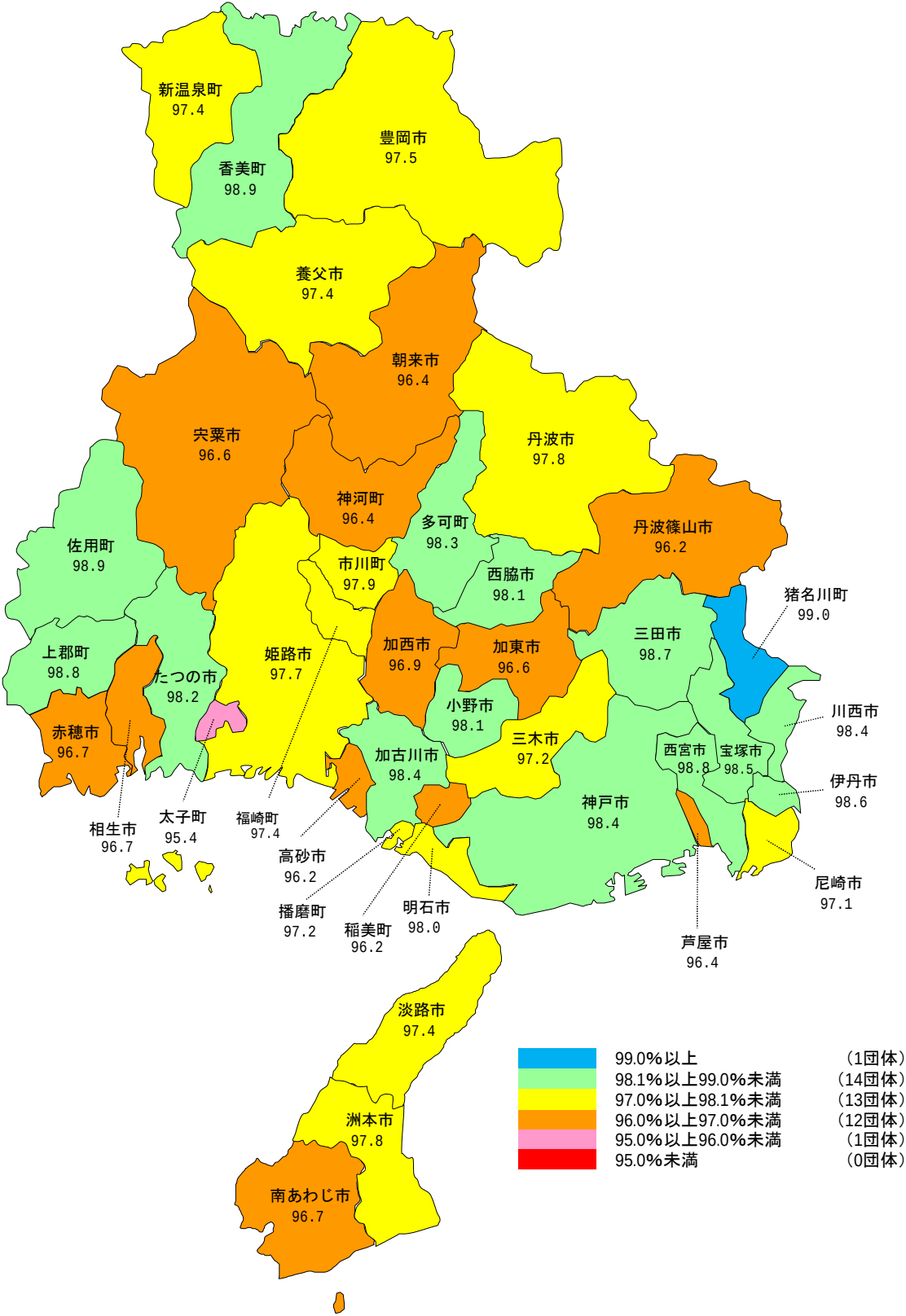
財政調整基金残高の対前年度比較

■前年度から比率が増加したのは31団体、比率が減少したのは8団体、増減なしは2団体
 ■最も増加したのは、市では尼崎市(+20.1億円)、町では上郡町(+1.2億円)
 ■最も減少したのは、市では赤穂市(▲3.4億円)、町では播磨町(▲2.2億円)



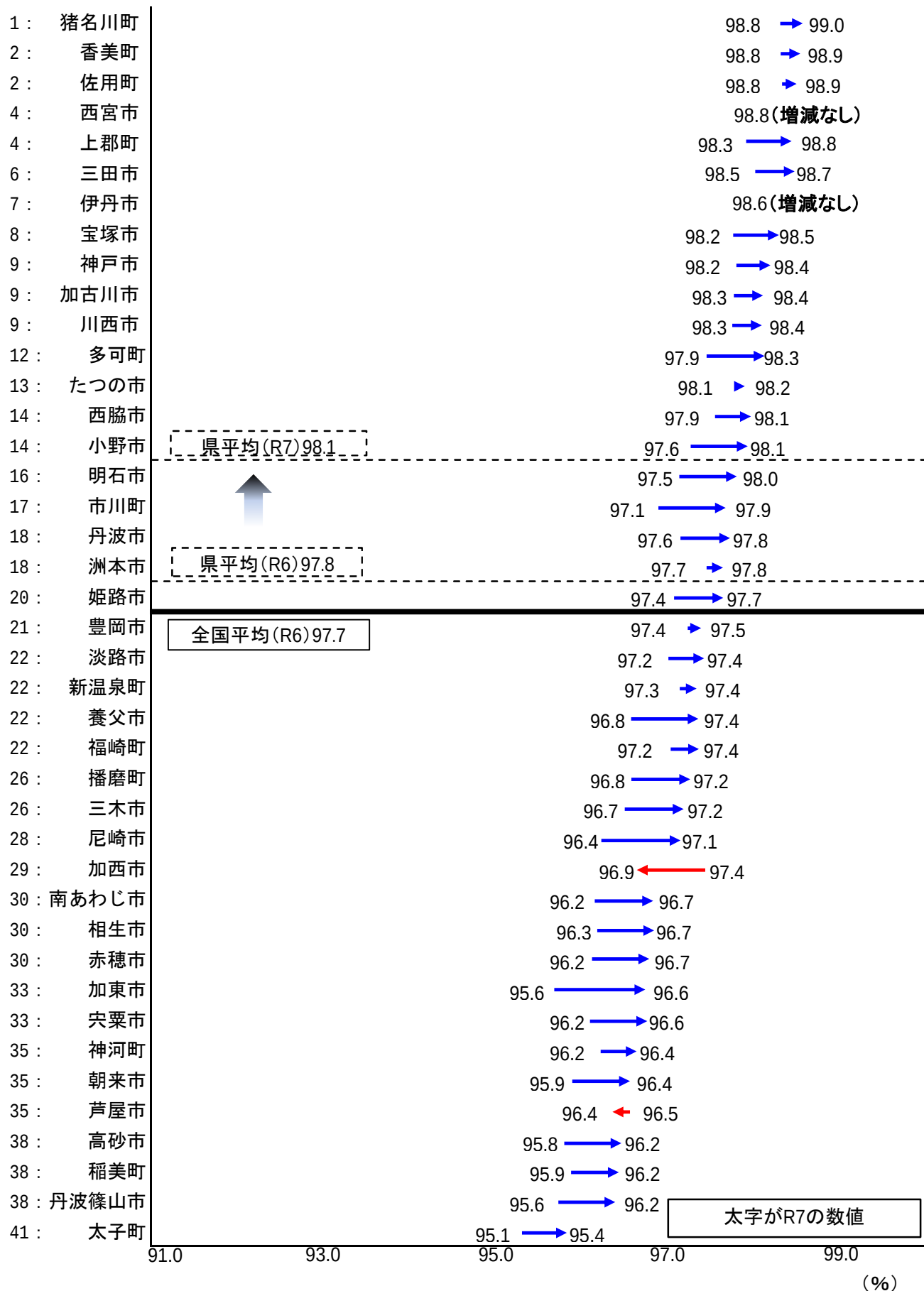
令和7年度 兵庫県内各市町の徴収率(個人市町村民税)の状況

- 徴収率の県平均は、98.1%(R6県平均97.8%)
- 徴収率が最も高い団体は、市では西宮市(98.8%)、町では猪名川町(99.0%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では丹波篠山市、高砂市(96.2%)、町では太子町(95.4%)



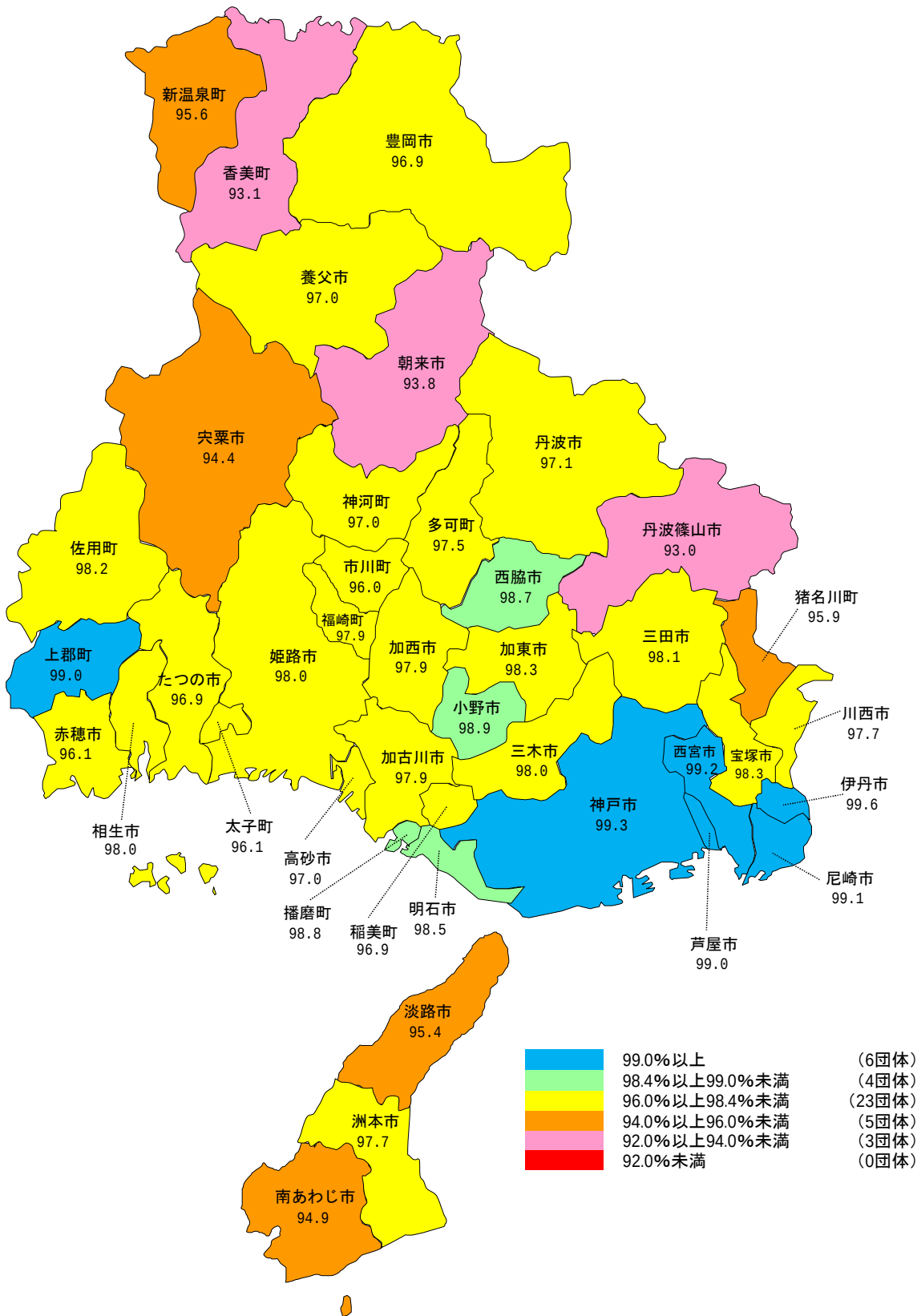
徴収率(個人市町村民税)の対前年度比較

■前年度から比率が増加したのは37団体、比率が減少したのは2団体、増減なしは2団体
 ■最も増加したのは、市では加東市(+1.0%)、町では市川町(+0.8%)
 ■最も減少したのは、市では加西市(▲0.5%)、町は減少なし。



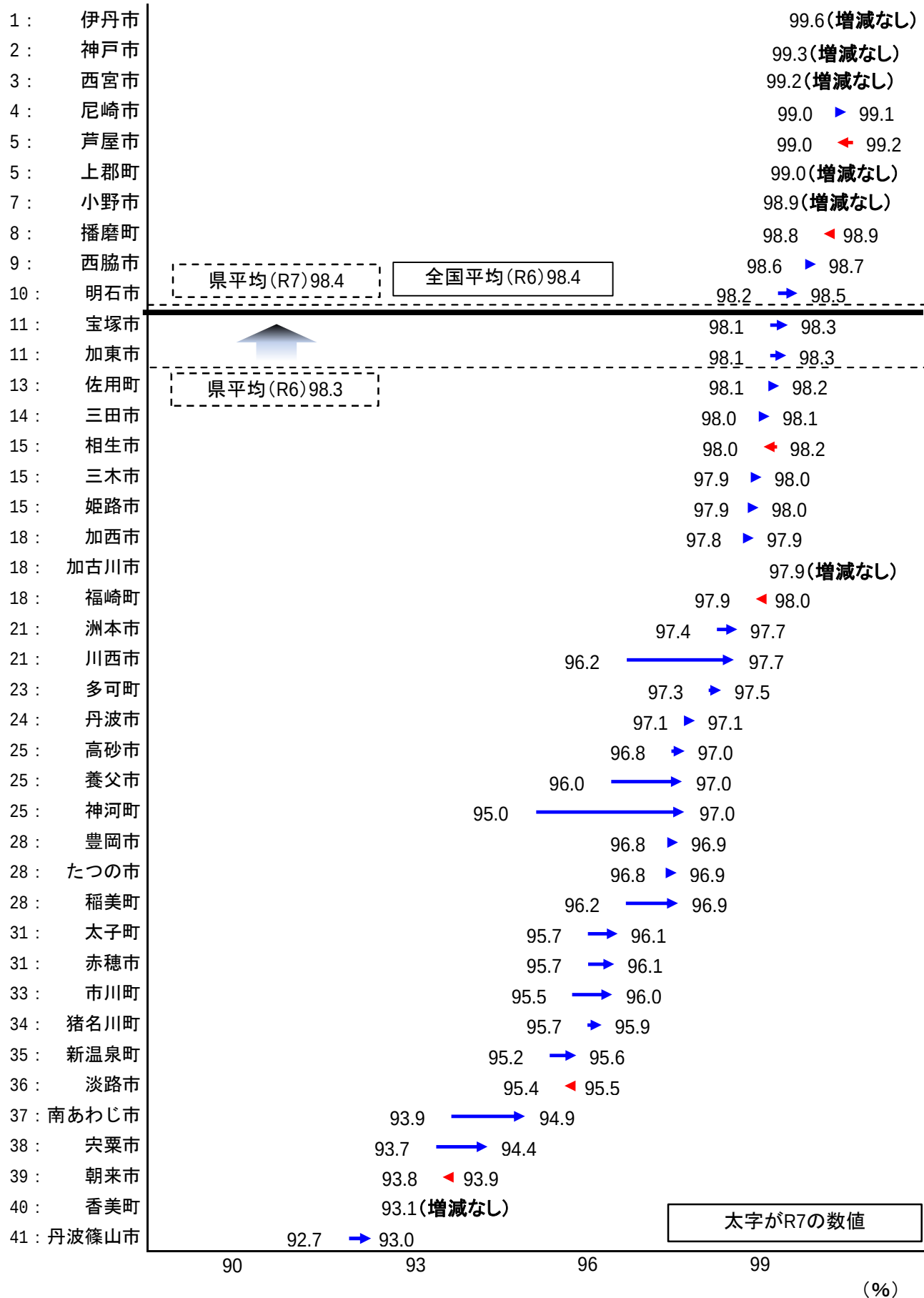
令和7年度 兵庫県内各市町の徴収率(固定資産税)の状況

- 徴収率の県平均は、98.4%(R6県平均98.3%)
- 徴収率が最も高い団体は、市では伊丹市(99.6%)、町では上郡町(99.0%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では丹波篠山市(93.0%)、町では香美町(93.1%)



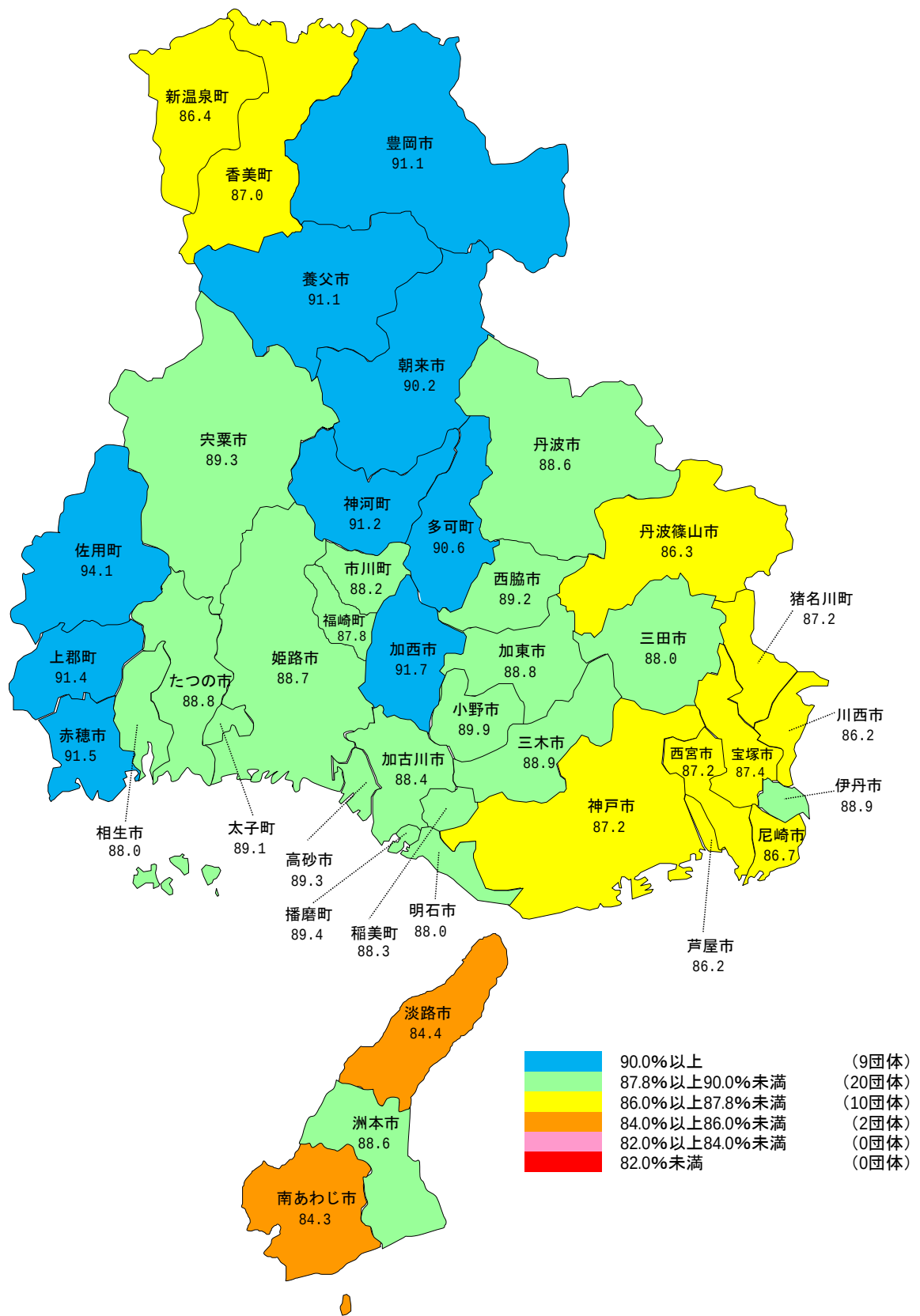
徴収率(固定資産税)の対前年度比較

■前年度から比率が増加したのは28団体、比率が減少したのは6団体、増減なしは7団体
 ■最も増加したのは、市では川西市(+1.5%)、町では神河町(+2.0%)
 ■最も減少したのは、市では芦屋市、相生市(▲0.2%)、町では播磨町、福崎町(▲0.1%)



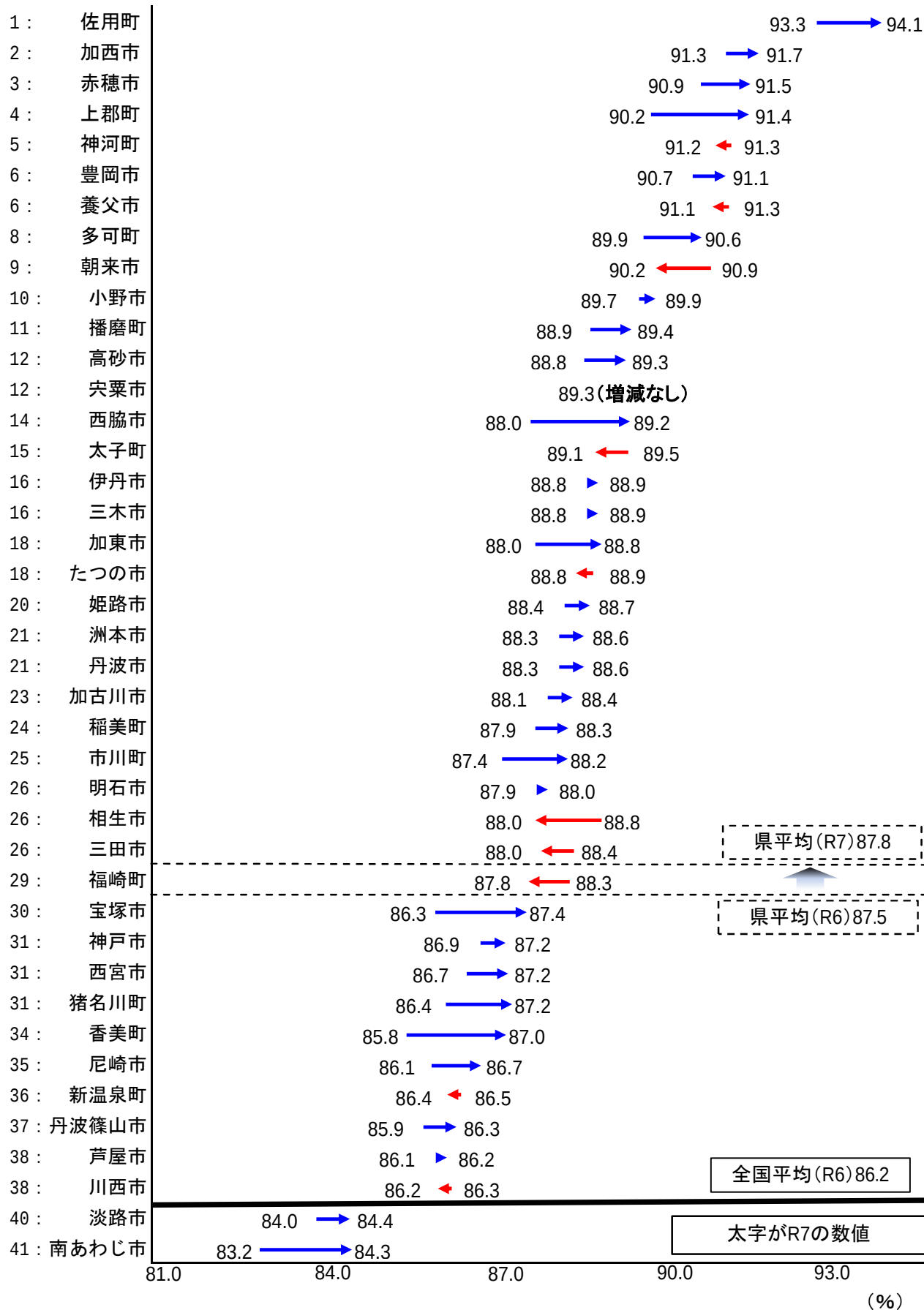
令和7年度 兵庫県内各市町の特別徴収実施率の状況

- 徴収率の県平均は、87.8%(R6県平均87.5%)
○特別徴収率が最も高い団体は、市では加西市(91.7%)、町では佐用町(94.1%)
○特別徴収率が最も低い団体は、市では南あわじ市(84.3%)、町では新温泉町(86.4%)



特別徴収実施率の対前年度比較

■前年度から比率が増加したのは30団体、比率が減少したのは10団体、増減なしは1団体
 ■最も増加したのは、市では西脇市(+1.2)、町では上郡町、香美町(+1.2)
 ■最も減少したのは、市では相生市(▲0.8)、町では福崎町(▲0.5)



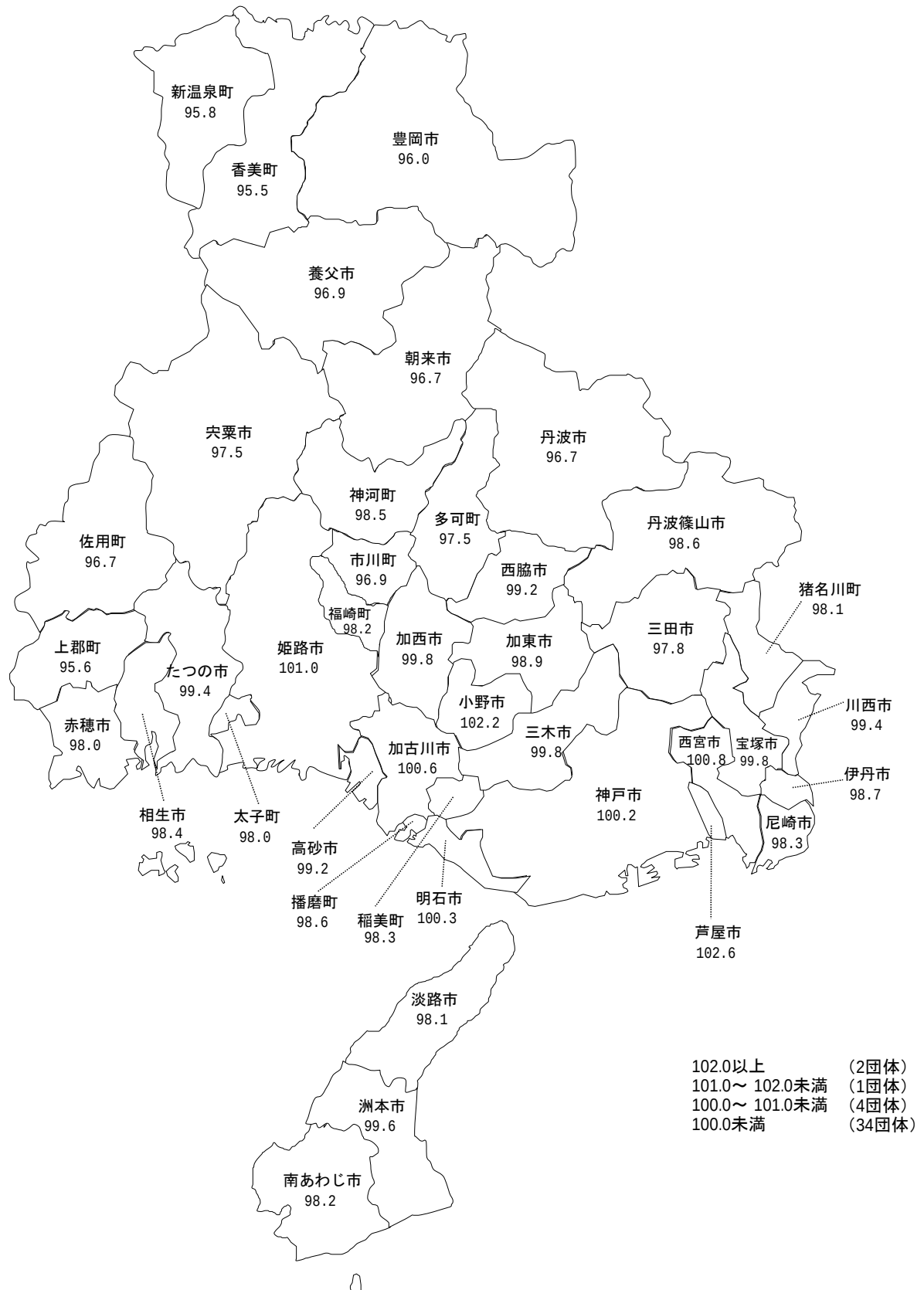
※ 特別徴収実施率: 給与所得者のうちの特別徴収で納付している人数 / 給与所得者の納税義務者数

令和7年 兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況(R7.4.1)

○ラスパイレス指数の県平均は、99.2(R6県平均99.1)

○ラスパイレス指数が100.0以上の団体は、芦屋市(102.6)小野市(102.2)など7市町

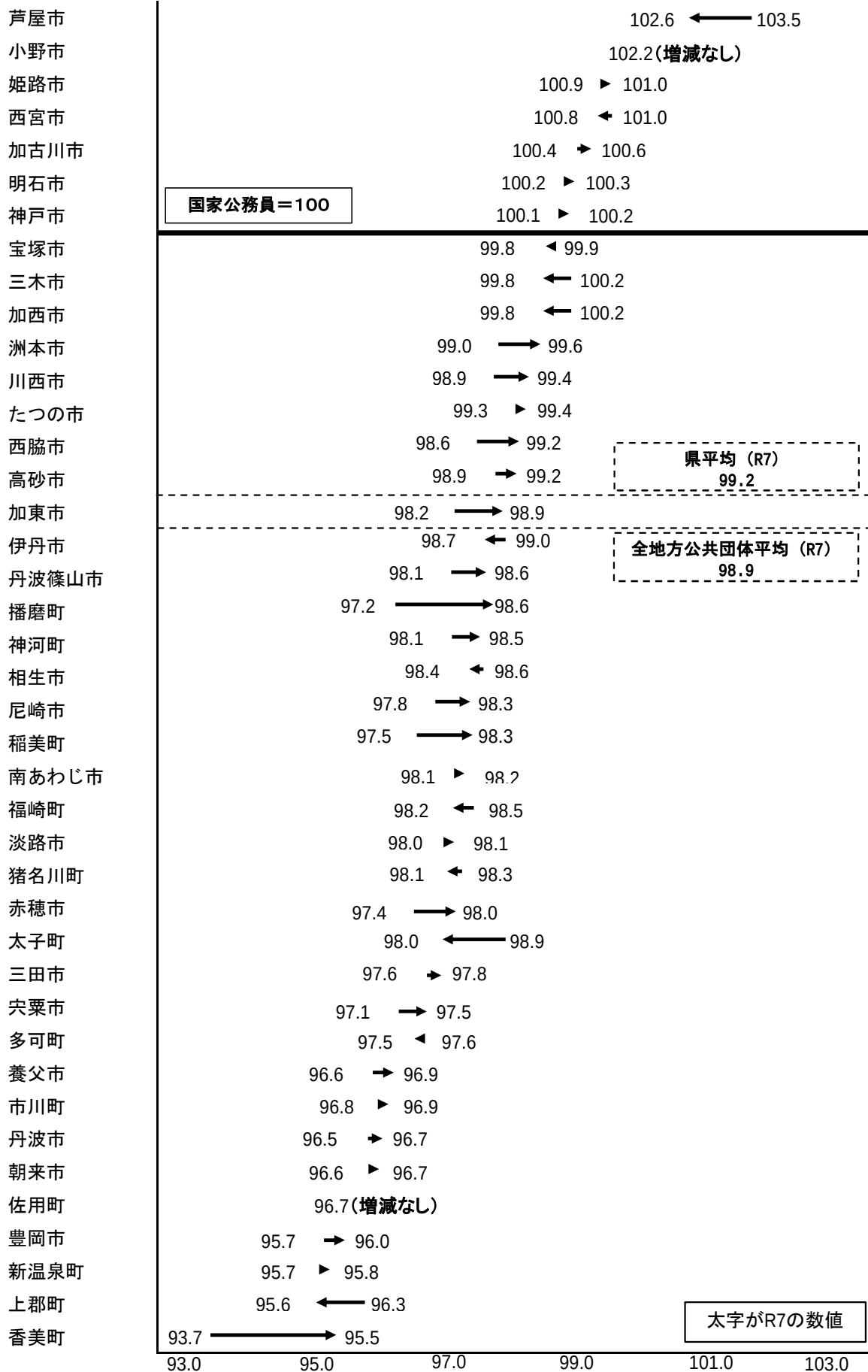
○ラスパイレス指数が100.0未満の団体は、香美町(95.5)など34市町



※ ラスパイレス指数：全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数

令和7年ラスパイレス指数の対前年比較

- 前年から指数が減少したのは12団体、増加したのは27団体
- 100以上の団体は前年比▲2団体の7団体
- 最も増加したのは香美町(+1.8)





Hyogo
Prefecture

令和 8 年 9 月

兵庫県総務部市町振興課